

名古屋市科学館のサイエンスショーの作り方

学芸員 山田吉孝



サイエンスステージ
Science Stage







水 + アルコール





サイエンスショー スタッフ

サイエンスショー スタッフ

- ◆ 名古屋市職員 学芸員 2名
- ◆ 名古屋市嘱託職員 15名
 - 勤続20年以上 7名
 - 公募による任期3年職員 3名
 - 教員OB(任期5年) 5名

サイエンスショー 制作チーム

- ◆ 名古屋市職員 学芸員 2名
- ◆ 名古屋市嘱託職員 6名
 - 勤続20年以上 2名
 - 公募による任期3年職員 3名
 - 教員OB(任期5年) 1名

ショーの発想点

ショーの発想点

- ◆ 理解してもらいたい概念がある。
- ◆ 見せたい実験がある。
- ◆ 見せたい演出がある。

ショーの発想点

理解してもらいたい概念がある。

- ◆ 大気圧
- ◆ 慣性の法則
- ◆ 静電気

ショーの発想点

- ◆ 見せたい実験がある。

ショーの発想点

- ◆ 見せたい演出がある。
- ◆ 博士と博士の対決でショーを行いたい。
- ◆ クリスマスバージョンのショーをしたい。
- ◆ ゆかたを着てショーをしたい。
- ◆ テレビショッピングふうに行いたい。

名古屋市科学館は

2人の掛け合いによるショー

掛け合いの基本は

1人が見学者の考えや気持ちを代弁する。

1人は科学をよく知っている人

もう1人はあまりよく分かってない人

掛け合いの他のパターン

2人が対等な立場で登場する。



- ・ハカセとハカセの実験対決
- ・科学者とおばけの出会い
- ・科学者とサンタクロース
- ・テキ屋とお客

発想から完成まで

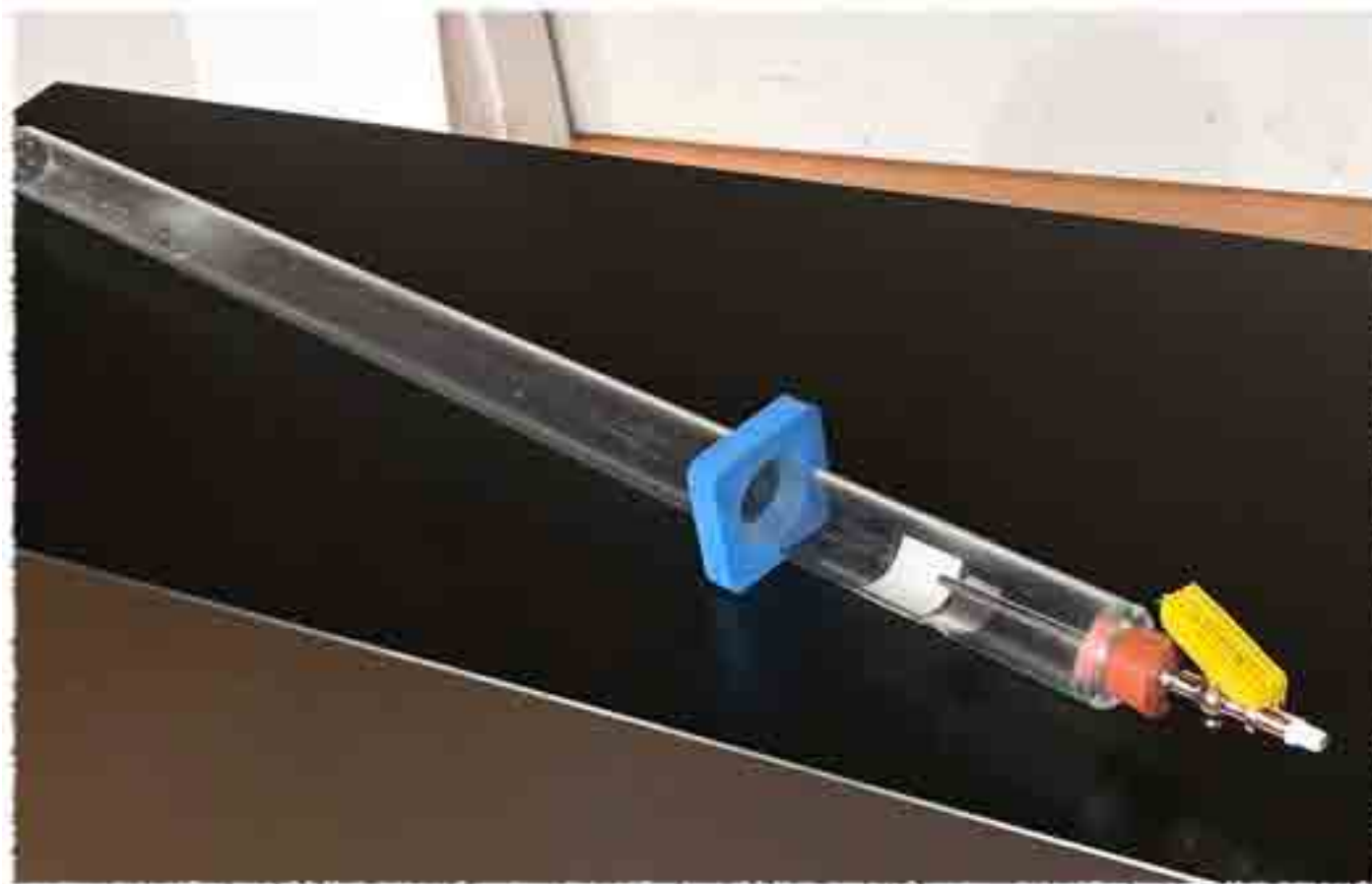
発想から完成まで

1つのテーマを追求するショー



アラカルトな内容のショー

1つのテーマを追求するショー



1つのテーマを追求するショー

- 実験を適切な順番に並べ、ストーリーを作る。
- なにをもって適切とするのか
 - 見学者が理解できるストーリーであること
 - ストーリーと実験が噛み合うこと。
 - ストーリーと関係ない実験はやらない
 - 退屈にならないよう、意外性のある演出を含める

エンターテインメントであること

サイエンスショーに大事なことはいろいろあります

- ・サイエンスの原理・原則を知ってもらう。
- ・科学に興味を持ってもらう。
- ・考える楽しさ、発見する楽しさを知ってもらう。
- ・

発想から完成まで

アラカルトな内容のショー

アラカルトな内容のショー

1つのテーマでなく無関係な実験の寄せ集め

ブロワー2台でブロワーを使う実験をいろいろ集める



まったく面白くない



テレビショッピングふうにしたらとのアイデア



ブロワーだけでは面白くない



2人の司会者がブロワーと掃除機の売り込みを競う



完成するもパフォーマーの個性に頼りすぎ

↓
完成するもパフォーマーの個性に頼りすぎ

↓
最もショーの上手い2人が苦勞して完成

↓
他のスタッフが演じるのに難しくなりすぎ

↓
掃除機をやめてブロワーだけのシンプルな構成

↓
ある程度完成するも、やはりパフォーマーの個性が前面に

↓
ようやく、誰でもできるシナリオが完成しそう。

アラカルトな内容のショー

1つのテーマでなく無関係な実験の寄せ集め

実験と実験をつなぐ必然性が必要

全体の大きな流れ、構成が必要

ゆかたを着てシヨールをしたい

夏祭り屋台サイエンス



- ◆ ポップコーン・・・浮力
- ◆ 射的・・・・・・空気砲
- ◆ かき氷・・・・・・過冷却
- ◆ 水ふうせん・・・熱膨張
- ◆ その他

ハカセとサンタのメリークリスマス



- ◆ 万能指示薬とドライアイス
- ◆ アンモニアで色が変わる花
- ◆ 鉄明礬によるワイン実験
- ◆ チキンで炎色反応
- ◆ リズミックウォーター
- ◆ 発光液
- ◆ オレンジオイル風船

なによりもシナリオが重要！

なによりもシナリオが重要！

細かなセリフではなく、

ショーの構成

実験の流れ

場面転換のキーワード

サイエンスショーを
行うにあたって

- 目線
- 発声
- 立ち位置
- 実験道具の見せ方
- 机のかたづけ
- 素の自分の延長上で演じる
- 見学者の巻き込み